

科目	土質力学II (Soil Mechanics II)		
担当教員	鳥居 宣之 教授		
対象学年等	都市工学科・4年・前期・必修・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	A4-S1(20%) A4-S2(80%)	JABEE基準1(1)	(d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	3年生で学習した土質力学Iの知識の地盤工学問題(土圧, 斜面安定, 地盤内の応力, 支持力)への適用について講義する。また, 演習問題を用いて各種地盤工学問題の基礎的な解析手法・設計について理解をはかる。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-S1】土圧を算定する概念について理解できる。		クーロン土圧, ランキン土圧ならびに擁壁の安定性評価について理解できているかを中間試験ならびにレポート課題で評価する。
2	【A4-S1】斜面の安定性評価の概念が理解できる。		平面すべりならびに円弧すべりの安定計算について理解できているかを中間試験ならびにレポート課題で評価する。
3	【A4-S2】地表面に各種荷重が作用した場合の地盤内の応力分布特性が理解できる。		地表面に各種荷重が作用した場合の地盤内の応力について理解できているかを定期試験ならびにレポート課題で評価する。
4	【A4-S2】地盤の支持力と基礎の沈下量の評価方法が理解できる。		地盤の支持力と基礎の沈下量の評価方法を理解できているかを定期試験ならびにレポート課題で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, 試験85% レポート15%として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。なお, 試験成績は2回の試験(中間試験・定期試験)の平均点とする。レポート課題は, 提出期限を厳守すること(提出遅れは, 原則, 評価対象外)。		
テキスト	「地盤工学(第2版)」: 澤孝平編著(森北出版)(土質力学Iで使用したもの) 「わかる土質力学220問」: 安田進, 片田敏行, 後藤聡, 塚本良道, 吉嶺充俊(理工図書) 講義時に適宜配布する補足資料		
参考書	「図解土質力学 - 解法のポイント - 」: 今西清志, 安川郁夫, 立石義孝(オーム社) 「土質力学入門」: 三田地利之(森北出版) 「土質試験 基本と手引き 第二回改訂版」: 地盤工学会(丸善)		
関連科目	土質力学I, 数学I, 数学II, 物理, 都市工学実験実習(土質系実験)		
履修上の注意事項	履修に際し, 3年生で学習した土質力学Iの内容を十分に理解しておくこと。講義後に各自で充分理解を深めるよう復習すること。レポート課題以外の演習問題にも自主的に取り組むこと。		

